虎や

浜田伊織

足立区の星、下町のピーターパン浜田伊織が久々に北千住虎やでミュージックラインに出演デス！

虎やの守護神、なぎら健壱大先生やかの高田渡様とも共演し、ラブバラードもよし、祭り音頭よしのロマンチックシンガー浜田伊織。

足立区最後の歌謡フォークシンガー浜田伊織が千住の夜を唱いまくります！

また伊織君はファン層が広い事でも定評があり、エンディングでは会場全員老若男女が大合唱！全員参加型の浜田伊織オンステージを是非ともお楽しみ下さいませ。

【とらさん】

カブ

JoeIGo

今年オープンするスカイツリーの麓、向島出身のボーカル、ガイを中心に下町パワーさく裂なロックバンド「JoeIGo」。

アメリカンルーツな匂いを漂わせつつ、いろいろなジャンルのエッセンスを自分たちのフィルターにかけ生まれたJoeIGoサウンドはまさに下町ソウル！どこか人懐っこくてハートフル、自然と心も体も動き出す。泣き上戸なあの娘もいつの間にか笑い上戸で踊り上戸ってな次第。

「横浜ジャグフェス」「北浦和みんなでSwingFestival」「すみだストリートジャズフェスティバル」「北千住文化祭」などフェスティバルへの参加も数多く、今回もお祭り男たちの面目躍如、ご機嫌なパフォーマンスを繰り広げてくれることと間違いなし！

みんなで騒ごうぜ‼

【ズッキー】

わかば堂

小池龍平

東京都荒川区出身、リズムギタリスト&シンガーソングライター。

二〇〇三年ブラジル音楽を独自の解釈で演奏するアコースティック・トリオBophanaを結成。日本人離れしたクール・ヴォイスとリズム・ギターは、高い評価を受ける。二〇〇六年、自らが中心となりHands of Creationを結成。アメリカン・フォーク、レゲエ、ブラジリアン・ミュージック等の音楽をルーツに持つ同バンドは、サマーソニック2006、朝霧Jam06、フジロックフェスティバル07、サンセットライブ08等に出演。

現在は主に小池龍平としてソロ活動や、Port of notesのライブ・サポートメンバー、小島大介（DSK、Port of notes）とのデュオユニットEVERESTや、satocough、MCS（BIGF ROGE）とのアコースティックJAMバンド、my-pot”のギタリストとして活動中。

ライブではループマシンを駆使し、声とギターをその場で次々に重ねていく斬新な即興JAMは高く評価されている。

二〇〇九年八月、小池龍平ソロプロジェクトbonitoとして、マイケル・ジャクソンのカバーアルバムSings MJを発表。さらには bonito名義でサマーソニック09にも出演！現在、アコギ一本と異常に重たいエフェクターボードを手に、全国行脚中。

土生 TICO 剛（LITTLE TEMPO）

ジャパニーズ・ダブの最高峰『リトルテンポ』のスティール・パン奏者。東京都国立市出身。レゲエを芯に据え、ライブ現場で鍛えながら独自の音楽を営み続ける。スティール・パン、ペダルスティール・ギターのきらめくメロディ、脳天が痺れる倍音、絡むサックスと鍵盤はメロウかつフリーキーに、そして多幸感をエスカレートさせる重低音リディム・セクション、それら四次元を実体化するダブワイズの炸裂！笑顔で身体とソウルを開放するオーディエンス！

昨年は、約三年ぶりとなる待望のニューアルバム『太陽の花嫁』がリリースされた。

チケットは
前売りが
断然お得！ョ
1枚で全店は入れて2,500円！
はしごライブ

ノック

朴保 Band with 松藤英男（ag）佐藤英二（g）関雅夫（b）清水達生（ds）

朴保（pak poeパクポー）、一九五五年山梨県で生まれる。韓国人父と日本人の母を持つ在日二世。

一九七九年に《広瀬友剛》の名でソロ・シンガーとして デビュー。その後一九八〇年に韓国を訪れ、パンソリなどの伝統音楽に触れる。韓国を訪れ自らのルーツに目覚め《朴保》に改名。《朴保&切狂言》を結成。一九八三～一九九二年単身渡米し、サンフランシスコで自身のバンド《OgieYocha》／《PsychedelicSamuraiandI》を率いて活動。一九九二年に帰国し《朴保&切狂言》の活動を再開。《朴保&His Band》結成。一九九三年には《東京ビビンパクラブ》に参加。そして一九九七年に《朴保Band》を結成し、翌年には、ピースボートに乗船、ダナンとプノンペンでライブを行う。新たに一九九九年《波人》を結成。二〇〇一年、再びピースボートにて、朝鮮民主主義人民共和国／大韓民国でライブを行う。二〇〇二年 映画『夜を賭けて』（監督：金守珍、原作：梁石日、脚本：丸山昇一）の音楽を担当。そして近年、二〇〇七年『傷痍軍人の歌』が映画『オレの心は負けてない』（監督：安海龍）のエンディングテーマとなる。

二〇〇八年にドキュメンタリー映画『朴保～歌いたい歌がある』（監督：田中幸夫）翌年には デビュー三〇周年記念アルバム『架橋～未来へ／朴保バンド』を発表。ドキュメンタリー映画『PAK―POE』（監督：田中幸夫）が東京・大阪で公開。

http://www.pakpoe.com/

いま現在も数々の作品と、格別のライブパフォーマンスで発信し続けるアーティスト。その音楽に触れ、レゲェ、ロック、ソウル、民謡までも取り入れた、その歌は紛れもないパワーと、言葉だけではないメッセージを感じた。そしてライブ、それはまるでステージから呼び込まれ、ウズ（渦）のなかにいるような…そんな朴保さんのライブを感じてほしいと思ってます。

なお今回、強力なメンバーでのパフォーマンスが実現いたしました。松藤英男（ag）佐藤英二（g）関雅夫（b）清水達生（ds）、この特別な日に是非ご覧いただきたいと願っております。

【高橋】

はしごライブ 会場店舗のご紹介

葛飾区金町から北千住に移転して早十数年以上。夜な夜な店に訪れる馴染みの客は数え切れない。洋酒の好みを言えばマスターがおススメの一本を選んでくれて、一品料理にも腕を振う。

Jazz spot Birdland
03-3888-1130
19:00-24:00 日曜定休

北千住、どこか懐かしく温かい雰囲気に満たされている居酒屋さん。自慢の魚料理や手間をかけた酒肴の多くは350円、厳選されたお酒もオール500円で提供。時に賑やかに、時にゆったりとした時間を楽しみながら過ごせる一軒です。

虎や
03-3870-7998
17:30-00:00 無休

珈琲は、炭火焙煎された豆を注文を受けてから挽き一杯一杯丁重にドリップ。紅茶は、日本紅茶協会Teaインストラクター店長が厳選した茶葉を、ポットで十分蒸らす。手作りスコーンやケーキとご一緒にどうぞ

Café Kova Garden
03-3881-6334
月-金 8:00-20:00 土祝祭 10:00-19:00
モーニング 平日 8:00-10:00 日曜定休 他

良質のアマチュアアーティストが集っており、New Ageアコースティック世代から、エレキ世代の大人バンドまで、シーンをノック！し続けるミュージシャンを応援している。飛び入りやセッションライブなども頻繁に行われている。

Live House Knock
03-3870-7799
Open19:00

ハワイや南仏の田舎のダイニングをイメージしたテーブル席、シックでノスタルジックなカウンター席。気軽にお酒、お食事、そしてノンジャンルに音楽を楽しめ、月に数本のライブイベントも。LOVE&PEACE！

Kitchen Bar Cub
03-3870-4110
19:00-25:00 日曜・月曜の祝日定休

北千住駅から３分なのに、路地裏のびっくりするほど静かな空間…。
ちょっと秘密の雰囲気があるカフェです。
ギャラリーとして、絵やイラストや写真の個展やグループ展をいつもさりげなく開いています。

Cafe わかば堂
03-3870-6766
平日12:00-24:00 日曜祝日12:00-21:00